

2020年(令和2年)3月31日発行

人権プラザ赤堀(TEL059-351-7609 FAX059-351-7608)

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/genre/1000100000179/index.html>



**四日市市部落差別をはじめとするあらゆる差別を無くすことを目指す条例(抜粋)**

(目的) 第1条 この条例は、日本国憲法及びあらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約その他の人権に関する条約の理念にのっとり、すべての市民に基本的人権を保障し、部落差別をはじめ、女性差別、障害者差別、外国人差別など、あらゆる差別を無くすための市及び市民の責務並びに市の施策について必要な基本事項を定めることにより、すべての市民が人として尊重され、明るく住みよい人権尊重都市四日市市の実現に寄与することを目的とする。

(市民の責務) 第3条 市民は、前条の規定により市が実施する施策に協力するとともに、基本的人権を相互に尊重し、自らも差別及び差別を助長する行為をしてはならない。



人権プラザ赤堀運営委員会  
委員 長  
辻山 忍

平素は、人権プラザ赤堀の活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。今年度は、平成から令和へと年号が変わり、新たな希望を抱く年度にもなりました。多文化共生の視点でお互いが分かり合うには、まずは食文化の交流からと始まった春のAKAHORIカーニバルも2回目となり大盛況でした。

また、秋の「赤堀ふれあいまつり」は、天候にも恵まれ、ステージ発表やゆるキャラの登場で大いに盛り上がり、協力者の皆さんによる屋台出店で、どこもかしこも賑わっていました。今年度はラグビーのワールドカップが開催され、日本チームが決勝トーナメントに進出する活躍がありました。チームの合言葉「ワンチーム」が一世を風靡しました。ふれあいまつりに関わるスタッフもまさに「ワンチーム」となって祭りを盛り上げました。年々参加者も増え、今や地域の祭りから市民の祭りへと変わりつつあります。

そして、常磐地区子ども人権文化育成協議会の活動は、児童集会所を活動拠点にして、今や、周辺地区の子どもたちが、たくさん集うようになりました。

私たちは、今後も赤堀を拠点に内外の交流を活発化し、一人一人が大切にされ、活かされる地域社会を創りあげていく努力をしていきますので、今後ともみなさんのご協力ご支援をよろしく願います。

## 「人権尊重都市宣言」1992年12月22日

すべての人々の基本的な人権が尊重される自由で平等な社会の実現は、人類共通の願いであります。しかし、私たちの身のまわりには、今なお因習や偏見などによるさまざまな人権問題が存在しています。人権が侵害されることは、いかなる理由であっても許されることではありません。人が人として尊ばれる明るく住みよい社会を築くため、私たちは、ここに四日市市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

## 「日本国憲法第14条」

すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

### 全同教大会に参加して」

常磐中央幼稚園 片岡 愛

昨年の11月30日、12月1日に三重県で行われた全国人権・同和教育研究大会に参加しました。

分科会では大阪府人教・松原市立布忍小学校の「そのままであえねん」～自分を見つめ、語り始めた子どもたち～の報告を聞き、部落問題学習とは何か」自分事にするとは何か」について考えさせられました。自分の普通を変えるのではなく広げていこうとしたり、枠で見るのではなくその人自身を見ていこうとしたりする取り組みは、幼児期からもつなげていけるのではないだろうかと思いました。自分事にして考えることをまずは自分自身、大人が意識していくとともに、日常の場面、場面で、自分には関係ない」と子どもたちが思ってしまうこと、端なかわりをしてしまっていないだろうかなどと振り返り、丁寧に見ていきたいです。

総括討論では、自主活動の分科会に参加しました。差別は大人になってからではなく、幼くても出会ってしまうかもしれないものであることを痛感するとともに、話し合いの中での子どもたちが本心に胸を張って生きていけるように、みんなで差別をなくしていかなければならない」という言葉に力をもらいました。

二日間とも報告や討論の中で、ぼく、同和教育ができる保育士になりたいよ」今、頑張っているよ」貯めたお金で先生になるために大学に行っています」この差別をなくすには先生になるのが一番や」などの教え子たちの言葉がたくさん聞かれました。自分はこの思いに込められる取り組みやかかわりができるだろうか、と問いかけられた気がしたとともに、差別がまだ根深くあるという現実を突きつけられた気がしました。だからこそ、大人だけでなく、子どもたちとも一緒に差別をなくす当事者になっていきたいと思えます。

### 四同研大会に参加して」

人権プラザ赤堀 金子 竜貴

四日市人権・同和教育研究大会の社会教育分科会にて赤堀人権のまちづくり推進委員会多文化共生「レア・レイ」の小野眞貴子さんが「多文化共生社会をめざして」～違いを認め合い、共に生きる～というテーマで報告されました。

多文化共生「レア・レイ」の成り立ちから始まり、「レア・レイ」の活動報告や今後の活動目標についてパワーポイントを用いて分かりやすく発表されました。活動内容としては、様々な国の食文化を学ぶ取り組みとしての料理教室や多文化コンサート、多文化共生講演会など、他国の住環境や文化の違いを知るための活動でした。

また、昨年度の五月に多文化共生事業として、AKAHORIカーニバル」を開催し、様々な国の方に出店をしていただき、大盛況のうちに終えることができました。他にも、常磐地

区人権同和教育推進協議会と協力し、人権啓発のためのDVDの作成も行いました。今後も他団体との協力や交流を行い、充実した活動にしていきたいとの報告でした。



# 成人講座

## 第一回成人講座 6月11日

私が歩んできた道

～さまざまな出会いを通して～

三重県多文化共生推進委員  
四日市市交通安全教育指導員

宮西 マリアさん

第一回成人講座は、多文化共生社会を  
考える内容でした。

現在、四日市市にお住まいで、三重県  
や四日市市の多文化共生推進のために  
活躍し、四日市市人権施策推進懇話会の  
委員でもある宮西マリアさんに講演し  
ていただきました。マリアさんの目から  
見た日本人観や今日までのたくさんの  
方との出会いを通して感じられたこと  
を、流暢な日本語で丁寧にお話いただき  
ました。

来日当初は、日本語が分からず、相手  
に自分の思いが伝わらず苦労されたそ  
うです。その後、マリアさん自身、前向  
きに日本語の勉強や多文化共生社会づ  
くりのために尽力されてきました。大  
とのつながりは難しいことはしなくて  
いい。日常のあいさつや声掛けなど簡単  
なことからはじめることが大切である。」  
とさまざまな出会いを前向き 肯定的に  
捉えるマリア  
さんの生き方  
は、参加者一  
人一人が自分  
自身の生き方  
を見直す機会  
となりました。



## 第二回成人講座 11月11日

ホッペで話そうー生と性

～生きているだけで100点満点～

助産師

林 みち子さん

第二回成人講座は、自分自身の生き方  
について考えさせられる内容でした。

現在、伊賀市にお住まいで、「いのち  
のかがやき」という助産院を開業し、今  
まで何千人もの赤ちゃんが生まれるの  
を助ける仕事をされてきました。また、  
お母さんの産後の悩み相談や性教育の  
推進のために命の大切さを伝える講演  
活動を全国各地でされてみえます。

性教育とは「生き方教育」であり「大  
生を楽しむ力」で「楽力」と考えている。  
「楽力」は、自分を大切にできる力」  
他人を幸せにできる力」 困ったとき  
に助けてと言える力」 困っている人を  
見過ごさない力」と言われました。また、  
「楽力」は人生の困難な道、真つ暗な道、  
暗闇を歩くための懐中電灯で、皆さんは  
その懐中電灯を持っているのに使って  
いないかも知れ  
ないとも言われ  
ました。  
講演内容は、堅  
苦しくなく、語り  
口も軽快で、楽し  
く学べる場とな  
りました。



## 第三回成人講座 2月4日

部落差別は、いま

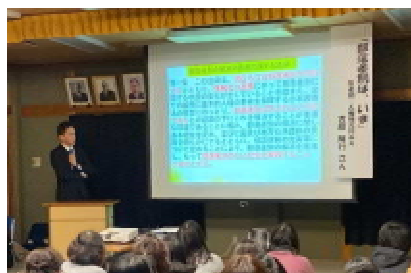
公益財団法人反差別人権研究所みえ

吉原 隆行さん

第三回成人講座は、部落差別の現状を  
知る内容でした。

現在、反差別人権研究所みえで、部落  
差別をはじめとするあらゆる差別の撤  
廃を目指して、県内各地で活動してみえ  
る吉原隆行さんから講演していただき  
ました。

平成28年に「部落差別の解消の推進  
に関する法律」ができましたが、ほとん  
どの人は部落差別の現状を知りません。  
そこで、全国の相次ぐ差別事件や県内の  
身近なところの差別事象が報告されま  
した。ユーチューブなどのSNSで差別  
的・攻撃的な内容が瞬く間に発信され、  
対応に苦慮していることも知りました。  
あえてマジョリティ・マイノリティと二  
分することで差  
別の残酷さをき  
わだたせ、具体的  
な事象をもとに  
お話いただきま  
した。  
部落差別の現  
状を知るうえで、  
丁寧でわかりや  
すいお話でした。



# 赤堀人權のまちづくり推進委員会

「赤堀人權のまちづくり推進委員会」は、人權のまちづくり活動を通して「住みやすい・住みたいまち」になるよう取り組んでいます。さまざまなイベントや講演会、ボランティア活動などを実施し、お互いが理解し尊重し合える仲間づくりを目指しています。委員会には3つの部会と9つの加盟団体があります。それぞれの活動を通して、会員同士が楽しく交流を深めています。

## 全体行事 1

### 第12回 赤堀ふれあいまつり 10月20日(日)

「笑顔でつなげるまちづくり」をテーマに、赤堀ふれあいまつりを開催しました。晴れ渡る空のもと、大勢のスタッフと参加者が集い、笑顔あふれる楽しいまつりとなりました。



ゆるキャラ10体 大集合！



太鼓「ゆう」のみなさんの迫力あるステージ演奏



赤堀と天白の子どもたちの交流！

「赤堀発！多文化共生」を目指し、いろいろな国の料理を食べ比べ、その国の方々との交流を楽しみました。初めて食べる味に舌鼓をうち、音楽の流れる場内で楽しいひと時をすごしました。

### AKAHORIカーニバル 5月19日(日)



外国の方々や子どもたち、ホリンともちつきを楽しみました。





## 全体行事 2



四日市人権・同和教育研究大会(8月)



視察研修(5月「平和祈念館」、11月「航空宇宙博物館」)



赤堀スポーツ広場の整備(6月)



分譲地草刈(6月)



赤堀天白ソフトボール交流会(6月)

## まちづくり部会

### 調査・研究部

地域の文化や歴史についての調査研究や、赤堀のまちおこしに繋げるための食の研究をしています。

### 記録・広報部

まちづくり活動を記録し人権啓発に活用しています。「ふれあい通信」や「視察研修ガイド」も作成しています。

### 研修部

赤堀人権のまちづくり推進委員会が主催する人権啓発研修の企画・立案を行っています。

## 加盟団体

### 人権啓発「コラソン・赤心」

身構えることなく、楽しく人権について学んでもらえるような啓発活動をしています。

### パソコン普及「パソパル」

パソコンを通じてなかまづくりやパソコン指導等をしています。土曜日に勉強会を行っています。

### 伝統文化普及 太鼓「ゆう」

毎月2回、赤堀児童集会所で太鼓練習を行っています。ジュニア太鼓クラブの指導もしています。

### 地域福祉「ひだまりの会」

いつまでも元気で暮らせるようにみんなで頭と体の体操をしたり、健康づくりに取り組んでいます。

### 環境美化「すぎな」

「自分たちのまちは自分たちできれいに」との思いで、地域の環境美化に取り組んでいます。

### 多文化共生「レア・レイ」

外国と日本の文化交流を図るため、いろいろな国の人を招いて母国の料理教室を開催しています。

### 食文化「彩(いろどり)」

料理教室を開催し、季節の野菜などをテーマに栄養学や食の文化や歴史にも触れ、学習しています。

### 体力づくり「楽しく」

「楽しく健康づくり！」を目指し、グラウンドゴルフを通じて、参加者同士の交流を図っています。

### 子育て支援「スマイル」

保護者同士が学び合い、子どもを取り巻く環境の改善や、子育てに役立つ講座を企画しています。

# 常磐地区

# 子ども人権文化育成協議会



常磐地区子ども人権文化育成協議会（人文協）は、『地域で育てる地域のこどもたち』をモットーに、児童集会所を拠点にした活動「すくらむ」「キッズスクール」「児童集会所開館支援」を行っています。

## すくらむフェスティバル

7/13 にすくらむの活動を発表・展示しました。  
※3/7のすくらむフェスティバルは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。



### ものづくりクラブ

身近なものを材料として再利用し、作品を作り上げる喜びを味わっています。



### ジュニア太鼓クラブ 入門・初級

基礎から始まり、曲を演奏できるようになりました。地域のまつりに出演しました。



### パソコンクラブ 入門・初級

基本的な操作を覚え、作品を作りました。「常磐まつり」に展示しました。



### 人形劇クラブ 「フルーツパフェ」

みんなで相談しながら自分たちの劇を作り上げています。保育園・幼稚園や地域のまつりで発表しました。



### 「輪」ジュニア太鼓クラブ(中学生)

『太鼓ゆう』と一緒に活動しています。小学生のよいお手本となり、みんなを引っ張っています。



### ドリームクラブ

学習習慣を身につける自主学習に取り組んでいます。

社会見学では、「鳥羽水族館」「中部国際空港」を見学し、働いている人の話を聞きました。



高校進学ガイダンスとして、中学生が進路を考える参考になるよう高校の先生にお越しいただき、各高校の学習や生活の様子などを説明してもらいました。

# キッズ スクール

キッズスクールは、子どもの居場所づくりと、遊びの活動を通して幅広い交流や相互理解を図ることにより、なかまとしてお互いを尊重しあう心を育むことを目的に、月に1回程度行っている活動です。

知的好奇心を持つような内容や、新しいスポーツに挑戦する企画など、子どもたちが意欲や興味・関心を持つことができる内容を計画、実施しています。

5/25 グラウンドゴルフ



講師：人文協企画委員

6/8 身近なもので遊ぼう！



講師：ときわ保育園の先生

6/29 つくってあそぼう！



講師：ユマニテク短期大学の先生と学生

8/5 習字を書こう



講師：坂下聖香さん

8/7 人権ポスターを描こう



講師：津村裕美さん・森本和江さん

8/8 ダンスをしよう



講師：天白人権のまちづくりの会「絆」  
指導者齋藤竜也さんと絆のみなさん

夏  
休  
み  
企  
画

7/22 サバイバルクッキング



講師：稲垣芳則さん

10/26 トンネルであそぼう



講師：常磐中央幼稚園の先生

11/30 みんなであそびをたのしもう



講師：ユマニテク短期大学の先生

12/7 ソフトバレーボールを体験しよう



講師：常磐中学校の先生と生徒

1/25 木の实を使って楽しく作ろう



講師：常磐西小学校の先生

2/8 つくってみようひな人形



講師：常磐小学校の先生

## 児童集会所 自由開館

だれでも自由に利用できます(未就学児は保護者同伴)  
月曜日～土曜日(日・祝休み) 午後1時～5時

児童集会所は、人権文化の拠点として、また人を尊重するという人権の土台をつちかうなかまづくりのための場として開館しています。たくさん子どもたちが自由に遊んだり、読書や勉強をしたりしています。また、絵本、図鑑、児童図書など本の貸し出しもしています。常磐人文協の事業として、開館の支援スタッフが、子どもたちの見守りや図書・遊具等の整備をしています。



## 図書利用の紹介

人権プラザ赤堀や児童集会所では、図書の貸し出しを行っています。

人権関係の図書をはじめ、話題の図書、絵本など様々な分野の本があります。

購入希望の図書のリクエストも受け付けていますので、ぜひご利用ください。

## 自治会活動



8/24 自治会夏祭り



7/26 育成会デイキャンプ



12/22 育成会クリスマス会

## 各種講座



手芸教室



パソコン教室



料理教室



子ども料理教室

## 就業支援事業

職業選択の幅を広げ、就労に有利となる資格の取得を支援しています。今年度は「小型クレーン技能講習」を実施しました。



### 定期講座一覧

- ◆手芸教室  
第2・4木曜日 午後1時30分～
- ◆パソコン教室  
随時
- ◆パソコン年賀状教室  
年末に3回
- ◆料理教室  
年6回 土曜日午後1時30分～
- ◆子ども料理教室  
年6回(2グループ各3回)  
この他にも、みなさんの希望などにより随時開催しますので、ご意見をお寄せください。

人権プラザ赤堀では相談事業を行っています。

福祉相談：毎月第2木曜日 午前9時～11時

健康相談：毎月上旬 午後2時～3時

教育相談：毎週木曜日 午後5時30分～7時30分

その他、人権、住宅、経営、就労、生活一般にかかる相談を随時受け付けています。どうぞご利用ください。

TEL 059-351-7609 FAX 059-351-7608

四日市市立図書館の自動車文庫が、月に一度(8月を除く)人権プラザに巡回してきます。ぜひご利用ください。

※詳細は図書館のホームページをご確認ください。



《表紙の題字》故 山城幸治郎 揮毫

人権プラザ赤堀の改修工事が終了しました。工事期間中は、ご迷惑をおかけしました。外壁が塗り替えられ、内装もきれいになりました。ぜひ、人権プラザにお立ち寄りください。

